

平成26年5月7日



## 大使からのメッセージ

本日は、在ネパール大使館のホームページにアクセス頂きありがとうございます。

5月に入り、カトマンズでは夏の盛りを迎えました。町にはたくさんの花が咲き乱れていますが、なかでも薄紫色の小さな花をたくさんつけるジャガランダの木は、遠くから見ると木全体が薄いシヨールをまとっているかのようで、とても美しく印象的です。

多くの民族が暮らし、ヒンドゥー教と仏教が共存するネパールでは、1年を通じて多くの祭りが行われますが、4月から5月にかけては、カトマンズとパタンの両方で行われるマチェンドラナートの祭りが有名です。マチェンドラナートはシバ神の化身で雨と豊穡の神様と言われていて、ネワール族の人々は神像を乗せた大きな山車を作って、数週間にわたって町を練り歩き、恵みの雨が来ることを祈ります。

さて、ネパールの政治は大きな変化を迎えています。昨年11月の総選挙の結果を受けて、本年1月には第2回制憲議会が招集され、2月には第1党となったネパール・ कांग्रेस党のスシル・コイララ党首が首相となって、第2党の共産党UMLとともに連立内閣を発足させました。これによって、2012年5月に第1回制憲議会が解散されてから続いていたネパールの政治的な空白は解消されました。今後の政治の焦点は、新たな民主憲法の制定・公布ですが、主要政党は、第3党となったマオイスト党も含めて、1年以内に新たな憲法を公布することを約束しており、今後、多少の紆余曲折はあるにしても、ネパールの和平プロセス、民主主義定着へ向けた取り組みは最終ゴールに向けて前進を開始したと言えますでしょう。

日本政府は、このネパールの政治的な進展を歓迎すると同時に、これまでと同様にネパール政府の新たな国造りを支援し、両国間の伝統的な友好関係をさらに発展させたいと願っています。

2014年5月7日  
在ネパール日本国大使  
小川正史